

# 経営比較分析表（平成28年度決算）

香川県高松市 市民病院

法適用区分	業種名・事業名	病院区分	類似区分	管理者の情報
条例全部	病院事業	一般病院	400床以上～500床未満	自治体職員
経営形態	診療科数	DPC対象病院	特殊診療機能 ※1	指定病院の状況 ※2
直営	22	対象	ド透I訓ガ	救臨感へ地輪
人口（人）	建物面積（㎡）	不採算地区病院	看護配置	
429,242	30,615	非該当	7：1	

※1 ド…人間ドック 透…人工透析 I…ICU・CCU 未…NICU・未熟児室 訓…運動機能訓練室 ガ…ガン（放射線）診療

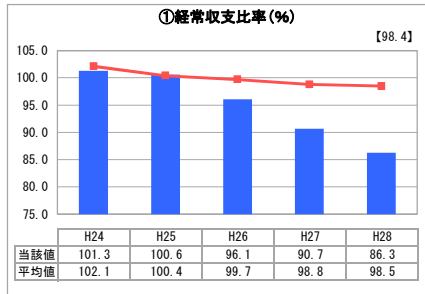
※2 救…救急告示病院 臨…臨床研修病院 ガ…がん診療連携拠点病院 感…感染症指定医療機関 へ…へき地医療拠点病院 災…災害拠点病院 地…地域医療支援病院 特…特定機能病院 輪…病院群輪番制病院

許可病床（一般）	許可病床（療養）	許可病床（結核）
341	-	-
許可病床（精神）	許可病床（感染症）	許可病床（合計）
70	6	417
稼働病床（一般）	稼働病床（療養）	稼働病床（一般+療養）
197	-	197

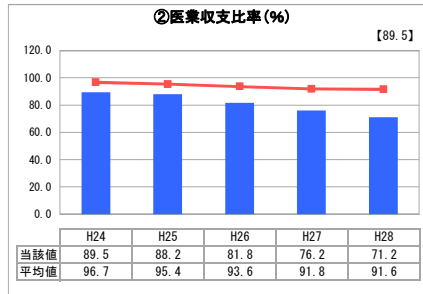
**グラフ凡例**

- 当該病院値（当該値）
- 類似病院平均値（平均値）
- 【】 平成28年度全国平均

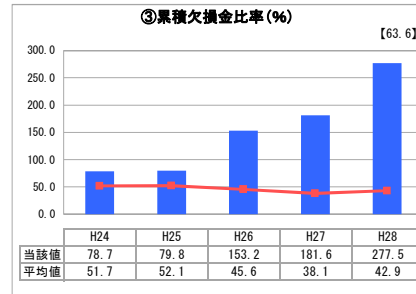
## 1. 経営の健全性・効率性



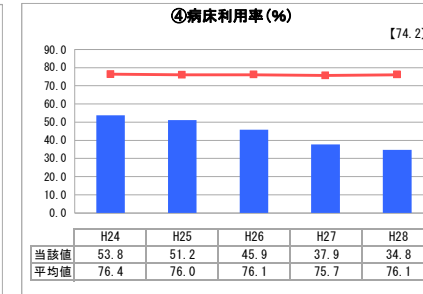
「経常損益」



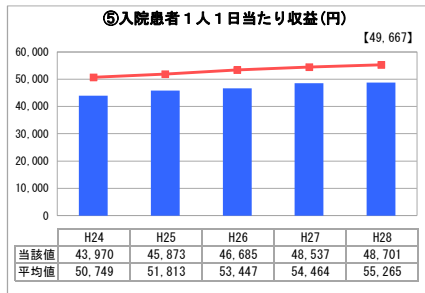
「医療損益」



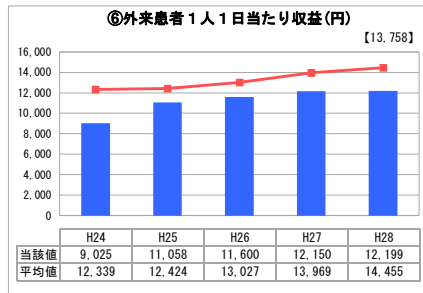
「累積欠損」



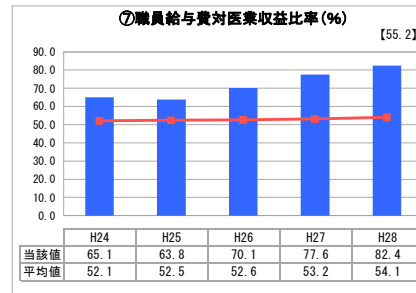
「施設の効率性」



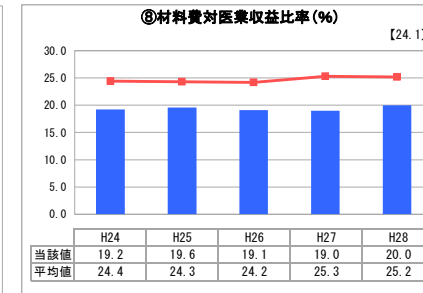
「収益の効率性①」



「収益の効率性②」

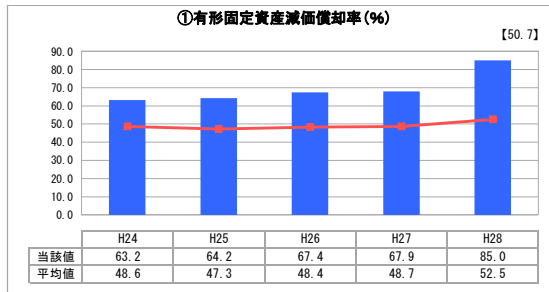


「費用の効率性①」

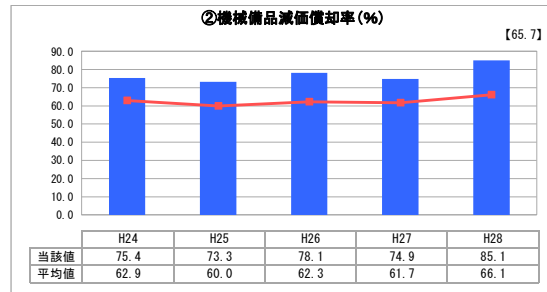


「費用の効率性②」

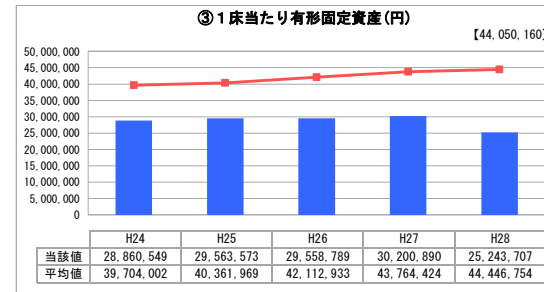
## 2. 老朽化の状況



「施設全体の減価償却の状況」



「機械備品の減価償却の状況」



「建設投資の状況」

## I 地域において担っている役割

急性期医療を担う中核病院として、地域医療機関との連携を図りながら、良質な医療を提供することはもとより、公立病院として、救急医療や、がん治療など専門医療、実習生等の受け入れによる人材育成など、採算性等の面から民間医療機関では困難な医療サービスの提供に努めている。

## II 分析欄

### 1. 経営の健全性・効率性について

①経常収支比率、②医療収支比率、④病床利用率、⑦職員給与費対医療収益比率が類似病院平均値を大きく下回った（⑦については上回った）要因として、内科医師不足や周辺医療機関の開院・改業などの影響で患者数が減少し、収益が低下したことによるものである。今後は患者数の増加に向けて、医師確保と、医師1人当たりの患者数を増やすことが課題である。

③累積欠損比率が大幅に高くなった要因として、資産の収益性の低下により減損会計を適用し、多額の特別損失を計上したことによるものである。今後は減損損失控除後の簿価に基づいた減価償却を行うため、減価償却費が減少し、損益の改善が見込まれる。

### 2. 老朽化の状況について

①有形固定資産減価償却率、②機械備品減価償却率はともに類似病院平均値を上回っているが、これは類似病院に比べ施設設備等の老朽化が進んでおり、更新が進んでいないためである。また経年比較で数値が大きく増加したのは、減損会計を実施したことにより、償却対象の有形固定資産の帳簿価格を減額したことによるものである。今後においては、30年度9月に新病院へ移転することとしており、施設設備だけでなく、医療機器等についても大幅に更新することから、大きく数値は改善するものと見込まれる。

### 全体総括

28年度の病院経営は患者数が減少し、極めて厳しい状況となった。今後、高松市民病院が、地域に必要な医療を継続して提供していくためには、更なる医師確保により診療体制を強化し、新規患者等の確保を図ることが経営改善の核となることを十分に認識し、経営改善に努めたい。

※「類似病院平均値（平均値）」については、病院区分及び類似区分に基づき算出している。

# 経営比較分析表（平成28年度決算）

香川県高松市 市民病院塩江分院

法適用区分	業種名・事業名	病院区分	類似区分	管理者の情報
条例全部	病院事業	一般病院	50床以上～100床未満	自治体職員
経営形態	診療科数	DPC対象病院	特殊診療機能 ※1	指定病院の状況 ※2
直営	7	-	訓	へ
人口（人）	建物面積（㎡）	不採算地区病院	看護配置	
429,242	3,621	第2種該当	25:1	

※1 ド…人間ドック 透…人工透析 I…ICU・CCU 未…NICU・未熟児室 訓…運動機能訓練室 ガ…ガン（放射線）診療

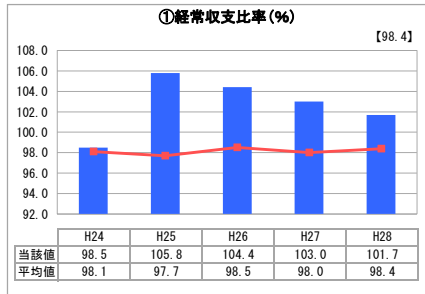
※2 救…救急告示病院 臨…臨床研修病院 ガ…がん診療連携拠点病院 感…感染症指定医療機関 へ…へき地医療拠点病院 災…災害拠点病院 地…地域医療支援病院 特…特定機能病院 輪…病院群輪番制病院

許可病床（一般）	許可病床（療養）	許可病床（結核）
-	87	-
許可病床（精神）	許可病床（感染症）	許可病床（合計）
-	-	87
稼働病床（一般）	稼働病床（療養）	稼働病床（一般+療養）
-	72	72

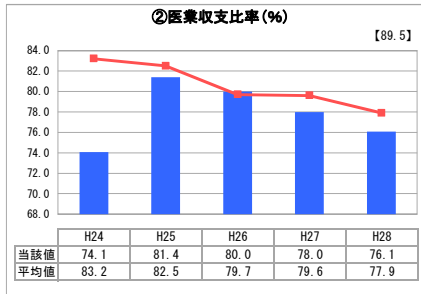
**グラフ凡例**

- 当該病院値（当該値）
- 類似病院平均値（平均値）
- 【】 平成28年度全国平均

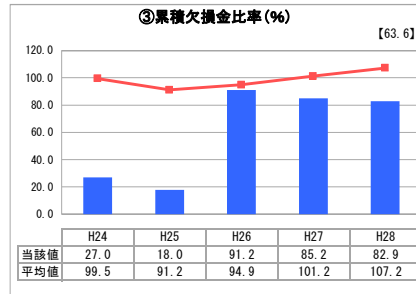
## 1. 経営の健全性・効率性



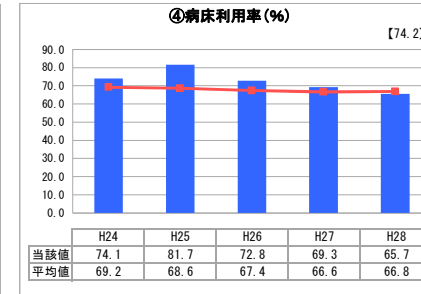
「経常損益」



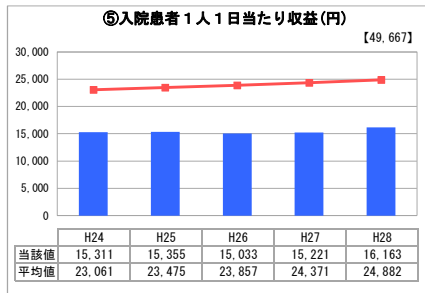
「医療損益」



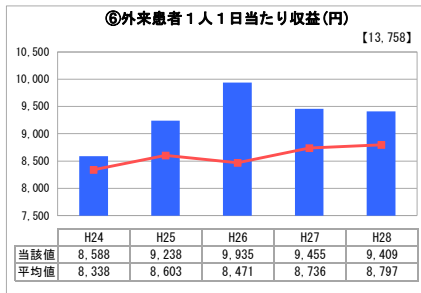
「累積欠損」



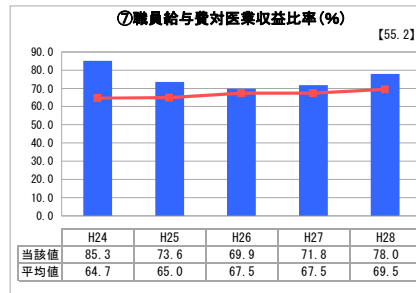
「施設の効率性」



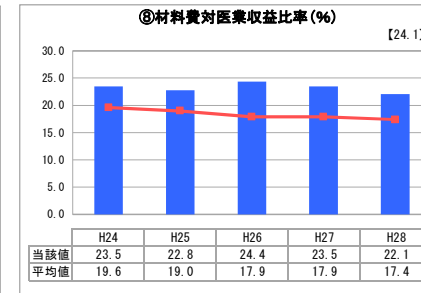
「収益の効率性①」



「収益の効率性②」

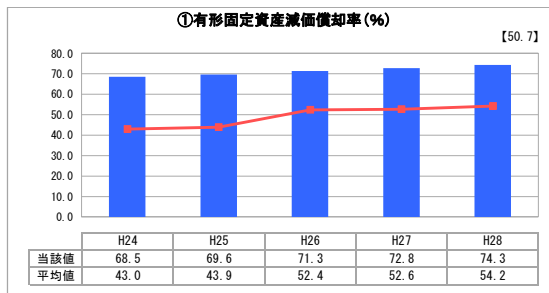


「費用の効率性①」

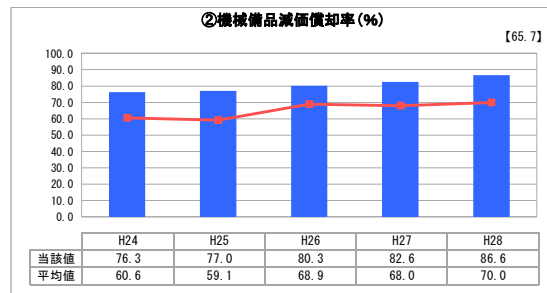


「費用の効率性②」

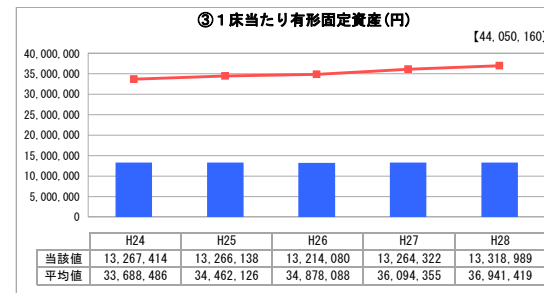
## 2. 老朽化の状況



「施設全体の減価償却の状況」



「機械備品の減価償却の状況」



「建設投資の状況」

## I 地域において担っている役割

塩江地域唯一の医療機関としての責任を果たすため、住み慣れた自宅で家族の負担を軽減しながら安心して療養できるよう、「在宅療養支援病院」として、医師、看護師が24時間・365日体制で患者の在宅療養を支援している。また、訪問診療や訪問看護を始め、歯科医師や理学療法士等、多職種が地域に出向き、専門性を活かした活動の充実のほか、交通手段を持たない地域住民のための患者送迎バスの運行など、職員全員で地域を支える「地域まるごと医療」を実践している。

## II 分析欄

### 1. 経営の健全性・効率性について

①経常収支比率については、類似病院平均値を上回っており、黒字を達成しているものの、経年比較においては少しづつ悪化しており、人口減少などの要因があげられる。  
②累積欠損比率については、H26年度に企業会計基準の見直しに伴う退職給付引当金の一括計上により急増したものの、徐々に減少してきており、経営の健全化が進んでいると言える。  
③病床利用率はやや低下してきているが、人口減少、高齢化が進んでいる地域であることから、大きな改善は困難と考えられる。  
④外来患者1人1日当たり収益は類似病院平均を上回っているものの、⑤入院患者1人1日当たり収益は平均値より低くなっているため、入院患者の平均単価を上げることが必要である。ただ、塩江分院は療養病床のみであり、患者単価は急性期病院と比べて低いことから、一般病床を含む類似病院平均値を上回することは困難である。

### 2. 老朽化の状況について

①有形固定資産減価償却率及び②機械備品減価償却率は、類似病院平均値より高くなっており、施設設備の老朽化が進んでいることが分かる。類似病院よりも施設設備の更新が進んでいない状況であるが、現在、30年9月に開院するみんなの病院の附属医療施設として、再整備を行うこととして検討を進めており、今後、適切な施設設備の更新に努めたい。

### 全体総括

28年度中に療養病床入院基本料I、在宅復帰機能強化加算を取得する等、医療品質の向上にも努めた。今後においても、「地域まるごと医療」をスローガンに、健全経営に努めるとともに、保険、医療、福祉が一体となって地域包括ケアに貢献していきたい。

※「類似病院平均値（平均値）」については、病院区分及び類似区分に基づき算出している。